

製品名: CK5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81116**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ICC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間、マウス、ラット、ウサギ、サル |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 62.3kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|------------------------------|
| 遺伝子名 | CK5 |
| 別名 | KRT5; K5; DDD; EBS2; KRT5A |
| 遺伝子 ID | 3852.0 |
| SwissProt ID | P13647 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト CK5 の精製された組み換え断片。 |

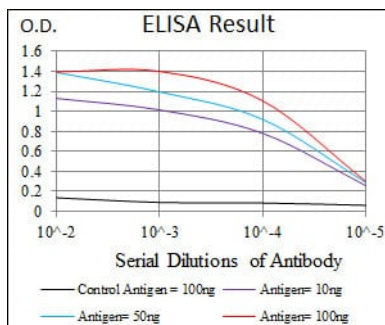
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ケラチン遺伝子ファミリーのメンバーです。II型サイトケラチンは、塩基性または中性タンパク質から構成され、これらはヘテロタイプのケラチン鎖の対として配列し、単純上皮組織および重層上皮組織の分化過程に

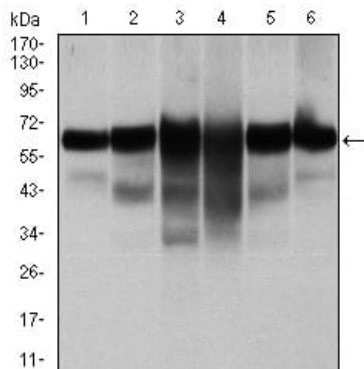
において共発現します。このII型サイトケラチンは、ファミリーメンバーであるKRT14と共に、表皮基底層で特異的に発現します。これらの遺伝子の変異は、単純性表皮水疱症と呼ばれる複合疾患と関連付けられています。II型サイトケラチンは、染色体 12q12-q13の領域に密集しています。

研究分野

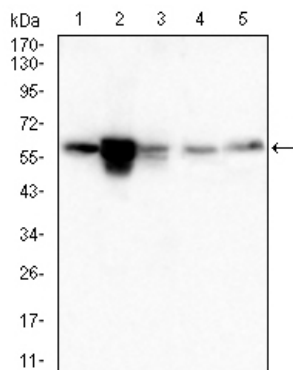
画像データ



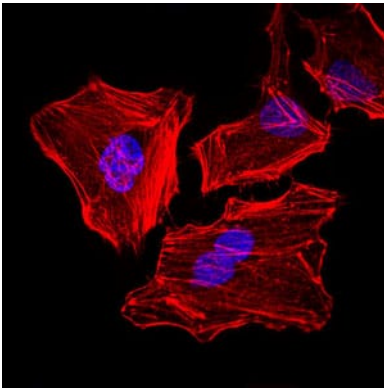
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



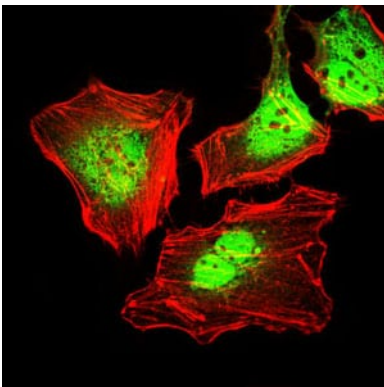
A431 (1)、MCF-7 (2)、HeLa (3)、HepG2 (4)、3T3-L1 (5)、および COS-7 (6) 細胞溶解物に対する CK5 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



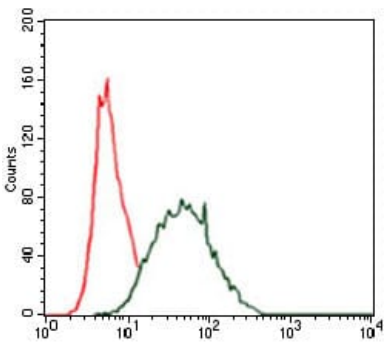
PC-12(1)C2C12(2)C6(3)L1210(4)CHO3D10(5)細胞溶解物に対する CK5 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



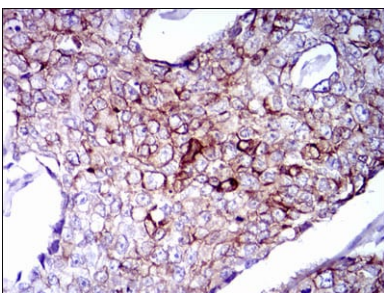
HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



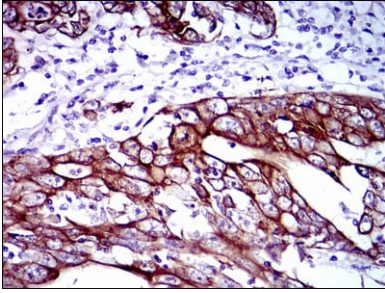
CK5 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。



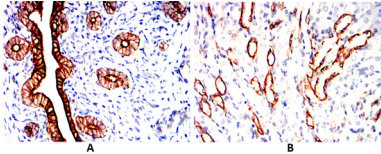
CK5 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



CK5 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。



CK5 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。



CK5 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス結腸 (A) とマウス腎臓 (B) の免疫組織化学分析。